



嘉穂総合高校のことを もっと知ってもらうために まずは学校に足を運んで 生徒の様子を見てください

このような連携や交流を深めていく中で、地元の方にも嘉穂総合高校の名前が知られていっているのではないかと
思っています。

このように連携や交流を深めていく中で、地元の方にも嘉穂総合高校の名前が知られていっているのではないかと
思っています。

創立10周年を迎えて
嘉穂総合高校は、今年で創立10周年を迎えます。本校の特徴は、生徒が3年間の専門教育の成果として、自分の進路を実現できることです。
山田高校、嘉穂工業高校、嘉穂中央高校の伝統、教育内容や進路などを受け継ぎ、進学・就職に取り組んでいます。
進学では、昨年度、九州工業大学を含めて2名が国立大学に合格しました。就職では

筑豊地区では最も多い求人数を確保して、生徒の希望進路を実現しています。
桂川町に移って7年
嘉穂総合高校が桂川町に移ってから7年目になりました。最近では、少しずつ桂川町に受け入れられているのかな、という気がします。
桂川町は、JRの駅があり、役場や図書館、郵便局などが集中的に揃っていて便利が良

く、環境もとても良い町だと思います。
嘉穂総合高校では、各教育機関との様々な連携した取り組みや、地域のイベントへの参加を行っています。
教育機関との連携では、桂川幼稚園、土師保育所、吉隈保育所園児のダチョウやポニーなどの動物とのふれあい、桂川東小学校児童との野菜作り、桂川中学校の生徒らに向けての体験授業などを行っています。
また、地域のイベントでは、「古代の謎フェスティバル」、「生き生き桂川っ子総合推進事業」、「商工まつり桂川」などに参加し、「とれたて村」での販売会や「桂川町パソコン教室」なども開催しています。

**実際に学校に足を運んで
もっと身近に**
一方で、嘉穂総合高校について「建物はよく見えるのだが、一体何をしているかよく知らない」という地域住民の方の声もよく耳にします。
嘉穂総合高校は、名称のとおりに総合型高校です。普通科の高校とは違い、専門教育を行っている学校ですので、具体的に何をしているのかイメージがつきにくいのではないかと思います。

も行っています。
しかし、嘉穂総合高校のことを知ってもらうためには、やはり実際に学校に足を運んでいただくが一番です。
11月8日(土)に開催される嘉穂総合高校の文化祭では、校内を一般開放します。10周年を記念して様々な催しも予定していますので、ぜひこの機会に嘉穂総合高校を訪れて、もっと身近に感じていただけたらと思います。

